



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2025 年 5 月 26 日

放課後の個別最適な学びを自治体で 川西市・葛飾区の学習支援事業に「すららドリル」導入 サクシードとの連携で地域の教育支援に寄与

AIを活用したアダプティブなICT教材「すららドリル」を提供する株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）は、教育事業を全国で展開する株式会社サクシードとの業務連携に基づき、同社が受託する兵庫県川西市および東京都葛飾区の学習支援事業において、「すららドリル」が導入されました。川西市は2025年5月から、葛飾区は2025年6月から「すららドリル」の活用を開始します。

すららドリル



学習に不安を抱える中学生を対象に、放課後の学びを支援

両自治体の事業は、学習に不安を抱える中学生を対象に、放課後の時間を活用して学習機会を提供するもので、基礎学力の定着や学習習慣の確立を支援することを目的としています。

「すららドリル」は、AIによるつまづき診断、難易度コントロール、復習ドリルの提示などを通じて、生徒一人ひとりの理解度やつまづきにに応じた個別最適な学びを実現します。対面で支援を行う学習支援指導員と組み合わせることで、継続的な学習意欲の喚起と、自律的な学びの定着につなげます。

川西市では市内中学校の教室を活用した放課後支援、葛飾区では少人数制での個別対応型の支援が行われており、それぞれの地域の課題や子どもたちの状況に応じた柔軟な学習支援の展開が期待されています。

すららネットは今後も、民間企業や自治体との連携を通じて、地域に根ざした学びの支援と教育格差の是正に取り組んでまいります。

＜すららネットとサクシードの業務連携について＞

すららネットと教育・福祉業界の人材派遣・紹介事業、家庭教師紹介事業、個別指導塾の運営事業を手がける株式会社サクシード（以下、サクシード）は、2023 年に全国の学校向け学習支援事業における包括的な業務連携協定を締結しました。

すららネットは、生徒一人ひとりの理解度に応じて問題を出題する AI 搭載の ICT 教材「すららドリル」を提供し、サクシードは全国の教育現場で蓄積された指導ノウハウと人的ネットワークを活かして、学習支援指導員の派遣や教室運営を担います。この連携により、教師の負担を増やさず、学習につまずきを抱える子どもたちにも継続的かつ効果的な支援を提供し、教育格差の解消と自律的な学びの実現を目指しています。

■AI×アダプティブラーニング教材「すららドリル」

「すららドリル」は、公立小中学校向けの AI ドリル教材で、児童生徒一人ひとりの理解度に応じたアダプティブな学習を提供します。AI による「つまずき診断」や「出題難易度コントロール」により、国語・算数／数学・英語・理科・社会の 5 教科を、学年を越えて柔軟に学ぶことができます。教材はドリル、テスト、対話式レクチャーの 3 機能で構成され、「演習→確認→復習」のサイクルで無理なく学力の定着を図ります。また、テストの自動作問・採点、自動復習登録機能により、教員の負担も軽減します。

「すららドリル」は、多様な学習スタイルに応じた指導が可能で、児童生徒の主体的な学びと教員の指導の質向上を同時にサポートします。

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 2,600 校以上の学校や学習塾で導入され、約 25 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>